

共同プレスリリース

第29回人文機構シンポジウム

和食文化の多様性－日本列島の食文化を考える－

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構と公益財団法人 味の素の文化センターは、このたび共催でシンポジウムを開催いたしますのでご案内申し上げます。

日本列島の食やその文化は、地域によりさまざまであり、また常に変化し続けてきました。このシンポジウムでは、日本列島の食を、歴史や風土、儀礼などの視点から紐解き、その多様なありようと、日本の食卓の「これから」を学術的見地も踏まえ考えていきます。

概要

タイトル	「和食文化の多様性－日本列島の食文化を考える－」
日時	平成28年10月15日（土）13:30～17:00（開場13:00）
会場	味の素グループ高輪研修センター 大講義室 （東京都港区高輪3-13-65）
アクセス	JR・京浜急行線「品川駅」高輪口（西口）から徒歩10分 都営地下鉄浅草線「高輪台駅」（A1出口）から徒歩3分
主催	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 公益財団法人 味の素の文化センター
後援	文部科学省、農林水産省、和食文化国民会議

プログラム

13:30	開会	主催者挨拶・趣旨説明
13:50	基調講演	ユネスコの無形文化遺産に登録された和食文化とはなにか 熊倉功夫（和食文化国民会議 会長、国立民族学博物館 名誉教授）
14:35	休憩	
14:45	儀礼の展開と和食	山田慎也（国立歴史民俗博物館 准教授）
15:00	アイヌの食と交易	齋藤玲子（国立民族学博物館 准教授）
15:15	琉球の食文化	木部暢子（国立国語研究所 教授）
15:30	だし（出汁）からさぐる和食の粋－海藻・魚・家畜	秋道智彌（総合地球環境学研究所・国立民族学博物館 名誉教授）
15:45	休憩	
16:00	パネルディスカッション	
	司会	佐藤洋一郎（人間文化研究機構 理事）
	パネリスト	熊倉功夫、山田慎也、齋藤玲子、木部暢子、秋道智彌
17:00	閉会	

参加申込

参加無料 要事前申込 定員 300 名

申込方法 以下のいずれかの WEB サイトからお申込みください。

<http://www.nihu.jp/ja/event/symposium/29>

<http://www.syokubunka.or.jp/event/symposium/>

※定員に達した時点で締め切ります。

主催機関の御紹介



大学共同利用機関法人

人間文化研究機構

人間文化研究機構(略称：人文機構)は、4つの大学共同利用機関法人のうちの1つであり、人間文化研究にかかわる6つの大学共同利用機関（国立歴史民俗博物館・国文学研究資料館・国立国語研究所・国際日本文化研究センター・総合地球環境学研究所・国立民族学博物館）で構成されています。それぞれの機関は、人間文化研究の各分野におけるわが国の中核的研究拠点、国際的研究拠点として基盤的研究を深める一方、学問的伝統の枠を超えて相補的に結びつき、国内外の研究機関とも連携して、現代社会における諸課題の解明と解決に挑戦しています。

◆ 人間文化研究機構のホームページ <http://www.nihu.jp/>

公益財団法人 味の素の文化センターは、食文化という言葉がまだ一般的でなかった昭和54年（1979）、味の素株式会社がシンポジウムと関連事業を開始したことに始まります。平成元年（1989）に食文化に関する研究支援と普及・啓発を目的とした財団を設立した後、平成25年（2013）に公益財団法人に移行しました。具体的な活動として、食に関するテーマを学際的に議論する「食の文化フォーラム」や上記成果を一般向けに発信する「食の文化シンポジウム」の開催、食文化誌『vesta』（季刊）の発行、食の専門図書館「食の文化ライブラリー」や「食文化展示室」の運営などを行っています。

◆ 味の素の文化センターのホームページ <http://www.syokubunka.or.jp/>

本件に関する問い合わせ先

人間文化研究機構 本部センター事務室 情報発信センター係

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル2F

電話：03-6402-9234(直通) FAX：03-6402-9240 E-mail：cip-office@nihu.jp

味の素の文化センター

〒108-0074 東京都港区高輪3-13-65 味の素グループ高輪研修センター内

電話：03-5488-7318 FAX：03-3445-7965 E-mail：toiawase_asb@ajinomoto.com